

いの海よそにはあらしあしのはのみだれてみゆるあまのつりふね

越の中山 有乳山よりうしとらにあたりで木の目峠とて大山を越て越前の府へ出るなり是を中山といふ也東へ行は斑路山といふあり

かりがねは歸山にや迷ふらん越の中山霞へだて

斑路山 此山は西東へ遠し海道は南の禁也

かへる山ありとは聞どはる霞立別なばこひしかるべし

五幡山 歸る山の近邊也新古今別の歌に伊勢

忘れなん世にも越路の歸る山いつはた人は逢んとすらん

關原 歸山の禁也美濃國にも同名有

鶯の鳴つるこゑにしき、れて行もやられぬ關の原かな

浅水橋 黒戸の橋 世俗にあさう津といふ所也此所より福井へ二里あり

あさむつの橋は忍びて渡れどもとゞるととゞると鳴ぞわびしき

たれぞこのね覺て聞ばあさむつの黒戸の橋をふみとゞろかす

玉江 あさう津といふ所に江川あり是を玉江といふといへり津の國に同名有

玉江こがあしかり小舟さし分てたれを誰とかわれはさだめん

〔延喜式〕兵部二十八諸國健兒略○中 越前國一百人略○中

諸國器仗略○中 越前國甲四領、横刀十口、弓廿張、征箭廿具、切藤廿具

〔續日本紀〕元明和銅五年七月壬午、令略○中 越前略○中 等二十一國、始織綾錦、

〔續日本紀〕元正養老三年七月庚子、始置按察使、令略○中 越前國守正五位下多治比真人廣成、管能登

越中、越後三國、